

EHIME PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES



公立大学法人 大学案内 INFORMATION
愛媛県立医療技術大学

保健科学部 看護学科
臨床検査学科

助産学専攻科
大学院保健医療学研究科



公立大学法人
愛媛県立医療技術大学
〒791-2101
愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地
TEL 089-958-2111 FAX 089-958-2177
<http://www.epu.ac.jp/>



愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん

2015.06

- 技と思考を鍛える -

愛媛県立医療技術大学のキャンパスは、松山市の郊外、
「アートの里」砥部町の静かな恵まれた教育環境にあります。

本学は地域の保健医療福祉に貢献できる人材を育成する県立の4年制大学です。

社会から求められるのは、プロとしての確かな力です。

4年間で人として豊かに生きる感性を磨きながら、医療の技と思考を鍛えます。

決してやさしい道ではありませんが、

プロとしての厳しさとやりがいにチャレンジするあなたを応援します。

- 沿革 -

- 昭和62年12月 愛媛県立医療技術短期大学認可
- 昭和63年 4月 愛媛県立医療技術短期大学開学
- 平成 3年 4月 愛媛県立医療技術短期大学に専攻科開設
- 平成19年 3月 愛媛県立医療技術短期大学閉学

- 平成15年11月 愛媛県立医療技術大学設置認可
- 平成16年 4月 愛媛県立医療技術大学開学
- 平成22年 4月 公立大学法人に移行
- 平成24年 4月 愛媛県立医療技術大学に助産学専攻科開設
- 平成25年12月 愛媛県立医療技術大学大学院設置認可
- 平成26年 4月 愛媛県立医療技術大学大学院開設

- CONTENTS -

学長メッセージ	3
保健科学部	5
看護学科	7
臨床検査学科	11
助産学専攻科	15
在校生及び卒業生からのメッセージ	18
卒業生の状況及び就職状況	19
学生支援	20
大学院	21
授業料・奨学金・その他の制度	22
図書館・地域交流センター	23
キャンパスガイド・キャンパスライフ	25
入学試験・オープンキャンパスについて	29
アクセスマップ	30

愛媛県立医療技術大学

保健科学部

看護学科
臨床検査学科

助産学専攻科

保健医療学研究科



事務局
図書館
地域交流センター

学長からのメッセージ

愛媛県立医療技術大学は、医療の分野で社会に役立つことを目指す学生を教育し、看護師ならびに臨床検査技師として専門的な学識・技術をもった優秀な人材を社会に送り出すことを目的とする大学です。昭和63年に開学した短期大学の歴史の上に、4年制大学として平成16年4月に設置され、平成22年に法人化、平成24年4月には助産学専攻科(1年制)を発足させ、県内唯一の助産師養成課程をさらに充実させました。平成25年4月からは学生定員を20名増やし、国内や県の医療職不足の改善に貢献しています。さらに平成26年4月からは大学院が設置され、研究面においても活発で充実した大学に変身しつつあります。

平成27年3月に卒業した学生の国家試験合格率は、看護師100%、助産師100%、保健師100%、臨床検査技師100%という素晴らしい成績で、さらに、就職率100%で巣立って行きました。短期大学時代からあわせると、既に3,000名を超える卒業生を送り出し、その多くがそれぞれの分野でリーダーとして活躍しており、高い評価を受けています。先輩方は後に続く優秀な後輩を待ち望んでおります。

現在の我が国は、人口の減少と高齢者の急激な増加、いわゆる少子高齢化がすすんでおります。このような状況下で、医療の仕事は、社会から大いに期待され、社会に大きく貢献する大切な仕事です。患者や家族の皆さんに頼りにされ感謝される、やりがいのある仕事です。立派な医療人となろうとする意欲を持って本学へ入学し、学ぼうとする皆様を心から歓迎します。我々、教職員一同、学生の皆様の期待に応えるべく、最高の教育を行えるよう努力しております。新しい大学ですが、それだからこそ、これから入学される皆さんが、希望に燃えて、この大学の新たな歴史を自分たちで作り上げ、さらに後に続く後輩につなげて行くことを期待しています。

公立大学法人 愛媛県立医療技術大学

学長 橋本 公二

Koji Hashimoto

【教育理念】

生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観によって培われた広範な視野と深い人間理解の下に、保健及び医療に関する高度の専門的な知識と技術をもって、あらゆる人々の健康と福祉の増進に寄与することができる実践者を育成します。

【教育目標】

実践能力

高度の専門的知識・技術を駆使し、科学的根拠に基づいた実践能力を有する人材を育みます。

豊かな感性

深い人間理解と高度な倫理観及び生命の尊厳を基盤とし、豊かな感性により人間の感情・意思及び自己決定権を尊重する人材を育みます。

協調・共働

保健・医療・福祉・教育など他の専門職の役割を理解し、柔軟に協調・共働しうる人材を育みます。

柔軟な思考

医学・医療技術の進歩発展や、保健医療に対する社会の変化・多様化に伴う要請に柔軟に対応しうる人材を育みます。

自己教育力

職業人として自らの行動に責任を持ち、かつ継続的な学習により能力を高める人材を育みます。

【アドミッションポリシー】

本学の設置理念や教育目的に賛同し、地域の保健医療に貢献しようとする人材を受け入れます。受入れにあたっては、入学志願者の能力および適性等を多面的に判定し、多様な選抜試験を公正かつ妥当な方法で実施します。求める学生像は以下のとおりです。

- 保健医療に関心をもち、地域社会に貢献する意欲がある人
- 自己の人間性を育み、他者を尊重する態度を有している人
- 物事を論理的・多面的に捉え、自分の考えを表現できる人
- 保健医療を学ぶために必要な基礎学力を身につけている人

保健科学部

Faculty
of
Health Sciences



学部長からのメッセージ

少子・高齢社会を迎えて、人々は、より健康で心豊かな生活を送れることを願っており、保健医療福祉の充実や質の高い専門職の育成は、ますます重要性を増しています。

本学の保健科学部は、看護学科と臨床検査学科の2学科からなり、保健医療の担い手として地域社会に貢献できる人材を育てています。

4年間の大学生活を通して、人としての豊かさ、保健医療専門職としての倫理観、専門分野の知識・技術、自ら考え行動する実践力などを培うとともに、卒業後も常に将来を見据え、社会の変化や保健医療の進歩に的確に対応できる主体性や課題解決能力が修得できるよう、教育目標やカリキュラムを編成しています。

学習の進め方は、2学科という小規模大学の特徴を活かして、両学科共同の授業や少人数グループによるゼミナールを数多く設定するとともに、講義・演習・実習を組み合わせた授業展開、現場の看護職や臨床検査技師を迎えての特別講義など、分かりやすく魅力的な授業展開を目指して教授法にも工夫を凝らしています。

平成25年度からは、両学科の定員を増やし、医療職への夢を抱く方々の門戸を拡大しました。また、高等教育機関としてさらに発展することを目指して、平成26年4月から大学院修士課程（保健医療学研究科）をスタートさせ、学部教育を終えた後も継続して学べる環境を整えました。

人々の健康生活に関心のある皆さん、社会に貢献できる保健医療専門職を目指しておられる皆さん、夢をかなえるために、ぜひ本学の門を叩いてください。

学部長 宮内 清子
Kiyoko Miyauchi

【カリキュラムの特色】

深い人間理解や地域理解のもと、保健医療の質の向上に貢献できる専門知識・技術を修得し、実践能力と学究的姿勢が身につくようにカリキュラムを構成しています。

・人間理解および倫理観の醸成・

広く人間を理解し、生命の尊厳や倫理観を養うために必要な教養教育の充実を図り、目的意識をもって学ぶことができるよう選択科目を多く設けています。また、基礎となる科目での学びを深めながら専門分野への興味関心が湧くように、1年次から少しずつ専門科目を学びます。

・地域住民の生活理解と健康増進への寄与・

社会のしくみや環境との関わりの中で人々の健康を考えることができるよう各種制度論や公衆衛生学を両学科の学生と一緒に学び、少子高齢化社会において人々の健康を手助けする担い手としての力を身につけます。

・コミュニケーション能力の養成・

保健医療の分野に携わる者には、正確に物事をとらえ、それを人に伝える能力が大切です。基本的な日本語の文章表現や語学、コミュニケーション論などを学ぶとともに、カウンセリングや面接技法の学習によって自分の意思や感情を表現する方法を身につけます。

・実践に活用できる専門的知識・技術の修得・

2年次からの臨地実習や実験によって、科学的知識に基づいて観察・判断できる力や情報を統合し課題を解決する力を身につけます。技術は、卒業時到達度を明確にして全員達成できるよう繰り返し学習します。また、保健医療福祉現場の実践者の協力を得て、現実に近い学びができるよう工夫しています。

・チーム医療の実践力の強化・

看護学科・臨床検査学科の2学科で構成される大学の特色を生かし、少人数討議法を取り入れながら相互理解を深め、入学初期の段階から両学科一緒に学ぶ科目を配しています。実習経験を積んだ4年次には、チーム医療の重要性を認識し、他職種役割を理解して共に働くことができる力を身につけます。

・課題探究能力の養成・

1年次から、少人数形式のゼミ等によって大学生としての主体的な学び方や学習資源の活用法を段階的に身につけます。4年次にはその仕上げとして統合・発展科目群を学習し、課題解決能力や研究的な視点を養います。

カリキュラムの概要



Department of Nursing

保健科学部 看護学科

看護は、人間の生老病死に寄り添いながらその尊厳と安全を守り、もてる力を引き出していく仕事です。超高齢社会にあって、看護職は医療機関はもちろんのこと地域・在宅、福祉施設や企業・学校など、多様な場において様々な人々と連携・協働していく役割が求められています。

このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、看護学科では、保健科学部として求める学生像（P4：アドミッションポリシー）に加えて下記のような入学生を求めます。

- ・看護職として地域社会の役に立ちたいと考える人
- ・人々の生き方・暮らし・健康・社会に関心がある人
- ・リーダーシップ・メンバーシップが発揮できる人

看護学科長からのメッセージ

看護は人間の生老病死に寄り添いながらその尊厳と安全を守り、もてる力を引き出していく仕事です。このことは昔も今も不変である一方、時代や医療の革新とともにより高い実践力が求められ、看護の役割も拡大してきました。認定看護師や専門看護師等、より専門性の高い看護師としての道も開けています。

決して簡単な道程ではありませんが、その先には誰かのために自分の力が役立つ喜びがあります。大学での4年間はそこに向かい始める第一歩です。将来、患者さんから「あなたに看護してもらえて良かった！」と言ってもらえる看護師になれるように歩みましょう！

私たちは、桜のつぼみが膨らみ始めた頃、4年間、苦楽とともにした学生たちを送り出し、そしてすぐまた満開の桜のなか、希望に満ちた初々しい入学生を迎え入れます。

大学は毎年この繰り返しのなか、少しずつ、愛媛県立医療技術大学(略称：医技大)らしさを作りあげていっています。皆さんが後に続いてくださることを待っています。

看護学科長 中西 純子
Junko Nakanishi

Department of Nursing CURRICULUM

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
共通教育科目	教養科目							
	基礎科目							
専門基礎科目	医療の基礎							
	人間の身体と精神							
	疾病の成り立ちと回復							
	社会のしくみと健康							
専門科目	専門分野一							
	基礎看護学							
	専門分野二							
	成人看護学							
	老年看護学							
	小児看護学							
	母性看護学							
	精神看護学							
	統合・発展分野							
	地域・在宅看護学							
統合科目								
発展科目								
公衆衛生看護学								

* 共通教育科目は看護学科と臨床検査学科の合同授業
(共通)は、看護学科と臨床検査学科の合同講義

-看護学の専門分野と特徴-

看護学の専門分野は、対象とする人の発達段階や健康レベル、看護を実践する場の特性等によって区分されています。

本学では右頁のような分野に区分して教育を展開しつつ、実習や研究などを通して全体の統合をはかっています。

看護師国家試験受験資格を得るための看護基礎教育では、これらの幅広い分野をすべてトータルに学んだジェネラリストの養成をめざします。また、これらに加えて、保健師国家試験受験資格をめざす学生には公衆衛生看護学科目を、看護学の各専門分野をさらに深化・発展させたい学生には看護特論などの発展科目の履修ができるようカリキュラムを作成しています。

看護学の専門分野は、近年、より細分化・拡大化し、卒後のキャリアアップでは特定分野のスペシャリスト（認定看護師や専門看護師など）として活躍する道も広がっています。本学科はその出発点として、知識・技術・態度のすべてにおいて基礎のしっかりした看護職を育てるべく、教育・臨床経験豊かな教員たちが小規模校の特徴を活かして密な指導を展開しています。

主な実習施設

愛媛県立中央病院ほか松山市・伊予市・東温市の医療機関

伊予市の介護老人保健施設

松山市・伊予市・砥部町の訪問看護ステーション

愛媛県内の保健所及び市町

砥部町の保育所

取得可能な資格

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格

公衆衛生学選択者のみ取得可能
希望者の中から30名以内を選考します。

養護教諭2種免許申請資格

一般授業科目を放送大学にて受講する必要がある場合があります。

衛生管理者免許申請資格

*養護教諭2種免許申請資格及び衛生管理者免許申請資格は保健師免許取得者が申請可能です。

基礎看護学

看護実践の基盤となる知識や技術、態度の修得を目指す領域です。例えば、看護の対象となる人間や健康、環境、看護理論などを学んだり、学生が互いに看護師役、患者役となって看護に必要な日常生活援助や血圧測定、採血などの診療補助の技術を身につけたりします。また、卒業後も医療の発展に対応し、対象者に最適な看護を実践するために必要な知識や技術を自ら学び続けることができるよう、教授方法を工夫しながら授業を展開しています。

成人看護学

青年期から向老期までの幅広い年齢層にある人々を対象に、発達段階を踏まえ、身体・心理・社会的側面から対象を理解し、健康問題や健康レベルに応じた援助について幅広く学ぶ分野です。生命の危機状態や手術療法にともなう看護、病気や障害とともに生きる人の援助方法について学びます。講義や学内演習でも臨床の場がイメージできるように工夫し、様々な知識・技術を身につけて臨地実習が行えるようにしています。

老年看護学

老年看護学分野では、加齢による心身の変化の特性を理解した上で、様々な健康レベルにある高齢者とその家族の健康と生活を支える看護を探求します。疾患や障害をもちながらも生き生きとした暮らしができ、よりよい人生を全うできる支援のあり方を高齢者と共に考え、専門的知識を活用しながら実践する力を身につけます。

小児看護学

子どもの心と体の健康や病気の時の看護、さらに子どもだけでなく子育てをする家族を含めた看護を学びます。子どもの発達・病気の理解を通じて、子どもの幸せな生活を築く家族の成長をも支える看護の在り方を追求しています。授業や実習は将来の子育てにも役立つ情報がいっぱいの内容です。

母性看護学

妊産婦・新生児及びそれを取り巻くパートナーとしての男性、家族、生活している地域社会への実際の看護活動について学びます。また、女性の一生を通じた健康の維持・増進・疾病の予防及び次世代が健康に生まれ育つことの具体的支援等について、将来、医療人・家庭人となる自らの身に引き寄せて学べるような講義や演習、臨地実習に取り組んでいます。

精神看護学

精神疾患や精神障害の有無に関わらず、広くこころの健康の保持・増進、回復に向けた看護について学びます。実習は、精神科病棟と精神科デイケアセンターをフィールドとし、対象となる人々と治療的援助関係を築きながら、その人らしい生活を送ることができるように援助する力を養います。

地域・在宅看護学

地域看護学では、地域住民の生活を理解し、健康の保持・増進を支援する方法を教育研究しています。3年次実習で県内の保健所や市町に向向いて地域保健活動を理解し、保健師選択学生は4年次に公衆衛生看護学実習でより実践力を培います。在宅看護領域は、入院前後のケアを繋ぐものとして外来看護や訪問看護の意義を理解し、福祉用具を用いて負担を減らす技術など、在宅療養者と家族を支える看護を探求します。

Department of Medical Technology

保健科学部 臨床検査学科



臨床検査は、病気の正確な診断や治療方針を決定するために必要なデータを提供する仕事です。最新の医学を基礎とし、医用機器を駆使した高度な検査を行うとともに、健康増進・予防医学・研究開発の分野でも役割を求められています。

このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、臨床検査学科では、保健科学部として求める学生像（P4：アドミッションポリシー）に加えて下記のような入学生を求めます。

- 臨床検査技師として、保健医療の分野で活躍したい人
- 人間の体の仕組みや機能、健康・病気に関心がある人
- 他者を尊重し、連携・協働していける人

臨床検査学科長からのメッセージ

病気になり病院へ行くといろいろな検査が行われます。この検査を臨床検査と呼びます。検査データを基に病気の診断や治療が行われます。正確な診断と有効な治療を行うためには尿や血液などの一般的な検査だけでなく、細胞や遺伝子レベルに至る高度な検査が行われます。医用機器を駆使してこれらの検査を行う専門家が臨床検査技師です。

現代医療の潮流は病気の治療から病気の予防へ、さらには健康作りに向かっています。また、近年の医療の高度化・複雑化に伴い、医療現場では医師や看護師といった他の医療スタッフと連携するチーム医療が主流になっています。このような中、臨床検査技師の役割は一層重要なものとなっています。

本学科では臨床検査に必要な知識と技術を修得し、新たな課題に対し適切な判断と解決能力を身につける特色あるカリキュラムを用意しています。また本学科では、教育・研究に熱意のある経験豊富な15名の教員が、皆さんに、親切・丁寧に、臨床検査に必要な学問の修得の援助をいたします。将来、臨床検査技師として、医療の世界に貢献したいと思っている皆さん、是非、本学で私たちと学びましょう。



臨床検査学科長 升野 博志
Hiroshi Masuno

Department of Medical Technology CURRICULUM

年次	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	教養科目									
	大学の文化性・健康・社会学・文学・哲学・法学・文化人類学・環境科学		科学論 現代コミュニケーション 現代文化コミュニケーション/B 現代メディア論							
共通教育科目	基礎科目									
	初學者ゼミ 日本語表現法 基礎科学A(生物コース) 基礎科学B(化学コース) 基礎科学C(物理コース) 生物学 化学 物理学 情報科学 生命科学 英語Ⅰ 英会話Ⅰ スポーツA スポーツB エクササイズ		基礎ゼミ 統計学 生命倫理 心理学 英語Ⅱ 英会話Ⅱ		コミュニケーション論 研究の基礎					
専門基礎科目	医療の基礎									
	医療概論(共通)		医療と安全(共通)				チーム医療(共通)		医療と法(共通)	
	人間の身体と精神									
	人体の構造・機能Ⅰ(共通) 人体の構造・機能Ⅱ(共通)		人体の構造・機能Ⅲ(共通) 人体の構造・機能実習		生涯発達心理学(共通) カウンセリング入門(共通) 人間工学(共通)		ヒトの遺伝学(共通)		患者・家族の心理	
	疾病の成り立ちと回復									
	食と栄養(共通)		臨床病態学Ⅰ(共通) 薬と健康(共通)		臨床病態学Ⅱ(共通)		臨床病態学Ⅴ 放射線医学(共通)			
	社会のしくみと健康									
	社会保健制度論(共通) 環境衛生学 公衆衛生学(共通)		保健医療福祉行政論(共通) 公衆衛生学実習 疫学(共通)		医療と経済(共通)					
	検査の基礎									
	分析化学 生化学 医用物理学		生化学実習 医用工学		医用工学実習					
専門科目	形態検査学									
	病理学 血液学		病理学実習 臨床血液学		病理組織細胞学 臨床血液学実習		病理組織細胞学実習			
	生体試料分析検査学									
	臨床検査総論 臨床検査機器総論 臨床化学Ⅰ		臨床検査総論実習 臨床化学Ⅱ		臨床化学実習 分子生物学 遺伝子検査学		放射線検査総論 遺伝子検査学実習			
	感染・生体防御検査学									
	微生物学 免疫学		臨床微生物学Ⅰ 臨床微生物学Ⅱ 臨床免疫学		微生物学実習 臨床免疫学実習 輸血移植検査学		臨床微生物学実習 免疫生物学 輸血移植検査学実習			
	生理機能検査学									
	生理機能検査学Ⅰ		生理機能検査学Ⅱ		生理機能検査学実習Ⅰ		生理機能検査学実習Ⅱ 画像検査学			
	検査総合管理学									
	臨床検査学概論				院内感染管理学 医療情報学		検査管理学			
医学検査の実践										
臨床実習Ⅰ		臨床実習Ⅱ		臨床実習Ⅲ						
医学検査の応用・発展										
				食品衛生管理者・ 放射線管理技師の任用 資格取得科目 食品関係法規 食品衛生学 衛生行政学 衛生学		医学検査診断学Ⅰ 医学検査診断学Ⅱ 医学検査研究 医学検査セミナー				

※ 共通教育科目は看護学科と臨床検査学科の合同授業
(共通)は、看護学科と臨床検査学科の合同講義

- 臨床検査学の専門分野と特徴 -

臨床検査は科学技術の進歩が最も迅速に反映される医療分野です。本専門分野では、最新の知識技術に基づいた教育を行い、目覚ましく進歩する検査技術に対応できる応用力・創造力に富んだ専門家の育成に取り組んでいます。特に、近年のがん細胞検査、遺伝子検査をはじめとする種々の先進医療検査に関する高度な知識技術を修得し、医療を担うチームの一員として活躍できる人材の養成を目指しています。

本学科は臨床能力に優れた臨床検査技師の教員と医系・理系の教員が協力し、幅広く高度な専門性を持つ教育研究の組織体です。本専門分野の教育は複数教員による濃厚かつ斬新的な内容であり、各系の専門教員による徹底的な指導体制をとっています。

主な実習施設

臨地実習Ⅰ
 愛媛生協病院
 済生会松山病院
 貞本病院
 鷹の子病院
 道後温泉病院
 N T T 西日本松山病院
 国立病院機構愛媛医療センター

臨地実習Ⅱ
 愛媛県中予保健所
 愛媛県衛生環境研究所
 愛媛県総合保健協会
 愛媛県厚生連健診センター

臨地実習Ⅲ
 愛媛県立中央病院
 愛媛大学医学部附属病院
 国立病院機構四国がんセンター
 松山赤十字病院

取得可能な資格

臨床検査技師国家試験受験資格

甲種危険物取扱者試験受験資格

食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格

※食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格は必要な選択科目を習得する必要があります。

形態検査学

色々な臓器を構成する細胞や組織、血液成分などの働きを理解しながら、それらが変化して病気になる機序について、種々の染色方法を用いた形態学的診断法を基礎から学びます。さらに、「病理組織細胞学実習」や「血液学実習」を通して、癌などの病変の標本や血液塗抹標本を染色し、染め上がった標本について顕微鏡を用いて各組織の癌細胞や白血球細胞、赤血球などの形態学的異常の特徴を判定する方法を学びます。

生体試料分析検査学

血液や尿などに含まれる種々の成分を様々な化学的分析法・遺伝子検査法や分析機器を用いて検査測定し、病気の診断、治療、予後、治療の適否や健康状態を的確に把握するデータを得るための方法について学びます。これらの内容を十分に理解し修得するための基礎として、種々の生命現象を分子レベルで把握する分子生物学、検査に使用される機器の基本的な構造、使用方法や測定に使用される放射性物質の取り扱いについても学びます。

感染・生体防御検査学

医学の歴史は、感染症に始まったと言っても過言ではありません。感染症とは、ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入して増殖・発熱・下痢・咳等の症状が出ることを言います。感染症の原因や微生物に対する生体防御機構、自己免疫やアレルギー疾患を診断するための検査方法等について学びます。

生理機能検査学

生理機能検査は、ほとんどの項目で機器を使用します。また検査項目の中には、術者の技量が検査結果に影響を及ぼす検査があります。生理機能検査学では、検査機器の構造・特性・測定原理等について十分に理解をし、より良い検査データが得られるように検査手技・データの解析能力を身につけることを目標にします。更に、生理機能検査は患者と接して検査を行うので検査手技だけでなく、接遇・個人情報保護等についても学びます。

検査総合管理学

検査総合管理学では、臨床検査技師の役割や、臨床検査データの重要性を理解するために、臨床検査の歴史から臨床検査技師に関する法律まで幅広く学習します。特に、臨床検査データの品質管理である精度管理と、医療事故や院内感染などに対する危機・安全管理、臨床検査部門を運営するための人事・財務管理などを重点的に学びます。

Graduate Program in Midwifery

助産学専攻科

助産師は、あらゆるライフステージにある女性と家族を支援するために、母子や家族に寄り添える豊かな人間性と助産学の知識・技術に基づく高度な実践能力を必要とする職業です。

現代の少子・高齢社会においては、母子保健を担う助産師に求められるニーズは幅広く、医療機関のほか、助産所・保健所・市町村など、多様な分野における活躍が期待されています。

このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、助産学専攻科では下記のような入学生を求めます。

- ・生命誕生に強い関心を持ち、主体的に助産学を学習できる人
- ・地域の母子保健に貢献する意志をもつ人
- ・豊かな感性と倫理観を持ち、柔軟な発想をもってものごとくに立ち向かえる人

※助産学専攻科に入学するためには、大学卒業等の資格を有し、かつ看護師免許を有するか又は看護師国家試験受験資格を有することが必要です。

専攻科長からのメッセージ

助産学専攻科を開設して今年で4年目を迎えました。本学は、開学以来、愛媛県内唯一の助産師養成機関として、看護学科学士の選択履修という形で助産師教育を実施してきましたが、より充実した助産師教育を行うためには、大学教育に上乗せした“助産学専攻科”(1年課程)における教育が望ましいこと、学部を選択履修学生の定員10名では、助産師を目指したい人々や助産師を必要としている産科医療機関のニーズに対応できないことなどから、平成24年に専攻科の開設に踏み切りました。

そして、平成27年度からは、学部選択の教育制度を閉じ、本格的に定員15名の助産師教育をスタートさせることができました。

専攻科の教育では、これまでの助産師教育にも増して教育内容を充実させることを目指して、教育カリキュラムや演習・実習体制に工夫を凝らしています。少人数で学ぶ実践的な教育の中で、母子や家族に寄り添える豊かな人間性豊かな助産師、知識・技術に裏打ちされた専門性の高い助産師として、地域の母子保健活動に貢献できる専門職に育ってほしいと願い、教員一同からを注いでいます。

助産師を目指す看護学生や医療機関等で活躍しておられる看護職の皆さんが、本学の門を敲き、助産師への夢と目標を達成されることをお待ちしております。

専攻科長 宮内 清子
Kiyoko Miyauchi

到達目標

倫理観と責任感

生命の尊厳を基盤とし、助産師としての倫理観と責任感を持ち、対象を尊重することができる。

自立

専門職業人として、自立した助産師として役割が遂行できる。

リプロダクティブヘルス/ライツ

女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができる。

助産診断・助産技術

マタニティサイクルにある女性のその人らしさを尊重し、自然の機序を最大限に発揮するための基本的な助産診断及び助産技術を獲得できる。

地域に密着した活動

女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、地域と密着した積極的な活動ができる。

柔軟な思考

周産期医療の高度化や多様化する価値観、時代のニーズに対応できる柔軟な思考を持つことができる。

研究

助産ケアの質の向上を図るために、日常行っているケアを研究的視点で科学的に検証し、追究することができる。

教育課程

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
助産学基礎領域	助産学概論	1	
	性と生殖の形態機能	1	
	周産期医学	2	
	新生児・乳幼児学	1	
	生殖医療と生命倫理	1	
計 必修 6 単位			
助産学実践領域	助産診断・技術学Ⅰ	1	
	助産診断・技術学Ⅱ	2	
	助産診断・技術学Ⅲ	1	
	助産診断・技術学Ⅳ	1	
	周産期ハイリスクケア論	1	
	統合ヘルスケア	1	
	ウイメンズヘルスケア	1	
	思春期ヘルスケア		1
	親子関係発達論		1
	国際助産活動論		1
	助産管理	2	
	助産学実習Ⅰ	3	
	助産学実習Ⅱ	8	
助産学実習Ⅲ	1		
助産学実習Ⅳ	1		
計 必修 23 単位・選択 2 単位以上			
助産学研究領域	助産学研究Ⅰ	1	
	助産学研究Ⅱ	1	
計 必修 2 単位			
修了要件単位数 33 単位以上			



卒業生の状況

平成 27 年 3 月に卒業した学生は、

○ 国家試験合格率 100%

平成 26 年度卒業生の国家試験合格状況 ※新卒者のみ

学科・専攻科	国家試験	受験者数 (名)	合格者数 (名)	合格率 (%)	全国合格率 (%)
看護学科	看護師	62	62	100	95.5
	保健師	61	61	100	99.6
看護学科・助産専攻科	助産師	9	9	100	99.9
臨床検査学科	臨床検査技師	21	21	100	93.8
合計		153	153	100	-

○ 平成 26 年度卒業生 (就職希望者) 就職率 100%

卒業 91 名 = 就職 84 名 + 大学院進学等 7 名

平成 26 年度就職状況

看護学科 就職状況

県内	就職先
愛媛県立病院	愛媛県内
愛媛大学医学部附属病院	東温市
独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	松山市
松山赤十字病院	松山市
松山市・保健師	松山市
西条市・保健師	西条市
内子町・保健師	内子町
市立八幡浜総合病院	八幡浜市
住友別子病院	新居浜市
伊予病院	伊予市
済生会西条病院	西条市
済生会今治病院	今治市
真網代くじらリハビリテーション病院	八幡浜市

県外	就職先
東京女子医科大学病院	東京都
東京大学医学部附属病院	東京都
近畿大学医学部附属病院	大阪府
神戸大学医学部附属病院	兵庫県
鳥取大学医学部附属病院	鳥取県
広島大学病院	広島県
国立循環器病研究センター	大阪府
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	京都府
独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	岡山県
独立行政法人国立病院機構 福山医療センター	広島県
独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	山口県
独立行政法人労働者保健福祉機構 関西ろうさい病院	兵庫県
西脇市立西脇病院	兵庫県
広島市立広島市民病院	広島県
徳島赤十字病院	徳島県
武蔵野徳洲会病院	東京都
大阪鉄道病院	大阪府
一般財団法人神戸市地域医療振興財団 西神戸医療センター	兵庫県
マツダ株式会社 マツダ病院	広島県
JA 尾道総合病院	広島県

進学	進学先
愛媛県立医療技術大学助産学専攻科	愛媛県
岡山大学看護学特別特別科	岡山県

臨床検査学科 就職状況

県内	就職先
市立八幡浜総合病院	八幡浜市
宇和島市病院局	宇和島市
済生会西条病院	西条市
済生会松山病院	松山市
十全総合病院	新居浜市
大洲中央病院	大洲市
よつば循環器科クリニック	松山市
愛媛県総合保健協会	松山市
順風会健診センター	松山市

県外	就職先
宮崎市医師会病院	宮崎県
富山赤十字病院	富山県
医療法人五里会 菊名記念病院	神奈川県
恵寿金沢病院	石川県
国保日高総合病院	和歌山県
マツダ株式会社 マツダ病院	広島県
寺岡記念病院	広島県
近森病院	高知県
製鉄記念八幡病院	福岡県
浦添総合病院	沖縄県

進学	進学先
愛媛県立医療技術大学大学院	愛媛県
山口大学大学院医学系研究科保健学専攻	山口県

助産学専攻科 就職状況

県内	就職先
愛媛県立病院	愛媛県内
NTT 西日本松山病院	松山市
十全総合病院	四国中央市

県外	就職先
日本赤十字社医療センター	東京都
淀川キリスト教病院	大阪府
社会医療法人愛仁会 高槻病院	大阪府

学生支援

本学の支援体制

1. 学生の目線に立った支援体制
2. 学生個々に対するきめ細やかな指導体制
3. 学生が相談、連絡しやすい体制を基本にしています。

学生相談システム

学生生活で生じる様々な問題や悩みの解決を手助けするため、学生相談室を設置しています。学内相談員が相談にあたるほか外部カウンセラー(臨床心理士)による相談も行っています。その他各教員がオフィスアワーを設定し、どの教員でも相談に応じています。

- ・外部カウンセラー(臨床心理士): 予約制 学内外の生活で生じる様々な問題や悩みについて対応します。
- ・オフィスアワー: 学生の皆さんからいろいろな疑問や悩みの相談等を受けられるために、あらかじめ設定された時間帯に指定した場所(研究室等)に教員が待機しておくシステムです。

クラス顧問システム

各学科学年に応じて必要数の教員が、大学生活に関する学生からの相談窓口を担当しています。学年進行に応じて必要なガイダンスや連絡などを行い、大学生活がスムーズに送れるように支援します。

国家試験受験への支援

各種国家資格の取得は大学生活最後の関門です。学生の自主性をもとに教員が支援しています。学生を中心とした国家試験対策委員会を設置し、ガイダンス、模擬試験情報、手続き支援、補習講義などを企画しています。また、模擬試験の結果をもとに担当教員が個別指導を行う場合もあります。

就職への支援

学生への就職支援は、学生委員、クラス顧問を中心に、必要に応じて各種専門領域の教員による個別指導を行っています。学生個々が自由に就職情報を検索できるように求人情報は就職情報コーナーに設置しています。また、就職関連プログラムとして、3年次生を対象に就職ガイダンスセミナーを開催しており、全学的に支援しています。

防犯安全対策

愛媛県警察本部の協力を得て、次のような対策をとっています。新たな学生生活が安心、安全なものとなるようバックアップしています。

- ・犯罪被害の防止: 犯罪被害防止教室の開催、犯罪情報の周知徹底
- ・学生が被害者とならないために、防犯意識を啓発しています。
- ・交通安全指導: 交通安全に関する講話および交通安全講習会を開催しています。
- ・防犯ブザーの配付: 女子学生が通学や日常生活の場で犯罪に巻き込まれないようにするため配付しています。

ハラスメント対策

セクシャルハラスメント、アカデミックハラスメントへの対策は大学全体で取り組んでおり、被害が生じないような体制を整えています。

- ・学生が訴えやすいような窓口の設置(学生相談システム参照)
- ・パンフレットによる広報活動
- ・全教職員がハラスメント研修、講習を受講

学生部長からのメッセージ

本学には、保健科学部と助産学専攻科、さらに保健医療学研究科(大学院)があり、それぞれの場で『医療の専門職になる』『医療の専門性を高める』という夢を実現するために、学生の皆さんが学生生活を送られています。そこで本学では、皆さんの学生生活がより充実したものであるための様々な学生支援を行っています。



学生部長 脇坂 浩之
Hiroyuki Wakisaka



大学院 保健医療学研究科

- 平成 26 年 4 月開設 -

基本理念・教育目標

基本理念

保健医療学研究科は、「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野に関してより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、総合的な判断能力・指導力・教育力を有する高度専門職業人を育成します。

教育目標

本研究科は、保健医療福祉分野における社会的な諸課題を具体的に解決することにより健康でこころ豊かに生活できる地域社会の実現に貢献し得る高度専門職業人を育成することを基本目標とし、修士課程において次のような能力を有する人材を育成します。

- 保健医療機関、地域、行政、教育などの現場において、リーダーまたは管理者として中心的な役割を果たし、活躍できる人材を育成する。
- 実践の現場で展開されている諸現象について科学的に検証しエビデンスを明確にするとともに、学術研究を通してそれらをさらに深化・発展させ、その成果を実践に適用することのできる人材を育成する。
- 地域社会で生じている保健医療福祉の諸課題について、その内容を学問的・体系的に俯瞰するとともに、背景にある原因や要因、解決策について解明し、関係者や社会への発信、諸制度や地域システム改善の提言、関係職種との協働活動を展開できる人材を育成する。

<看護学専攻の教育目標>

看護に関する学習や経験を振り返り意味づけする力、人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力、論理的に思考し人々に説明できる力を身につけ、高度専門職業人として実践の場でリーダー・管理者・教育者の役割を發揮できる人材を育成する。

<医療技術科学専攻の教育目標>

臨床検査の学習や経験を基盤に、臨床検査を中心とする医療技術科学において、高度の知識を活用した医療技術の開発・改良を行う力、卓越した検査技術を駆使する力を身につけ、高度専門職業人として実践の場におけるリーダー・管理者・教育者の役割を發揮できる人材を育成する。

定員 看護学専攻 5名 医療技術科学専攻 3名

詳細についてはHPをご覧ください。
<http://www.epu.ac.jp/>

授業料・奨学金・その他の制度

授業料・諸費用 (平成26年度実績) ※金額は改定される場合があります。

区分	保健科学部	助産学専攻科	大学院	備考
入学選考料	17,000円	17,000円	30,000円	
入学科	県内居住者	282,000円	282,000円	2017年4月に該当する者 ①入学者本人が、平成27年4月1日以前から引き続き愛媛県内に住所を有する者 ②入学者本人の家族等又は1親等の親族が、平成27年4月1日以前から引き続き愛媛県内に住所を有する者
	県外居住者	423,000円	253,800円	423,000円
授業料	535,800円	535,800円	535,800円	前期(4月)後期(10月)に半額ずつ納付

減免制度

特別の事情(学費を負担している者が死亡したり、災害に遭ったりした場合等)により、授業料等(入学選考料、入学科及び授業料)を納付することが困難と認められる者に対し、減免等(減免、納付猶予及び分納)の制度を設けています。

奨学金制度

奨学金は、成績が良好かつ経済的な理由で修学が困難な学生に、学業の継続を援助するための資金を貸し付ける制度で、以下の制度があります。本学では、学内掲示板で随時お知らせするとともに、例年4月に奨学金説明会を開催しています。

日本学生支援機構奨学金(選考あり)

第一種【無利子貸与】

- (1) 保健科学部、助産学専攻科
自宅通学者 月額 45,000円
自宅外通学者 月額 51,000円
※上記のほか、月額30,000円も選択できます。
- (2) 大学院
月額 5万円、8万8千円の2種類から選択できます。

第二種【有利子貸与】

- (1) 保健科学部、助産学専攻科
月額 3万円、5万円、8万円、10万円、12万円の5種類から選択できます。
- (2) 大学院
月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の5種類から選択できます。

詳しくは [日本学生支援機構ホームページ](http://www.jasso.go.jp) <http://www.jasso.go.jp>

その他

自治体や公的団体などで奨学金制度を整備しているところもありますので、詳細は事務局教務学生グループへお問い合わせください。

総合補償制度

実習先を含めた大学管理下(学内、登下校中、サークル活動中等)での傷害事故、実習中の針刺し事故などに起因する検査・治療費用及び第三者に対する賠償責任等(交通事故を除く)を補償する保険制度に、本学の学生は全員が加入します。
なお、保険料の負担や加入手続きは、後援会で行います。
【保険料 年間:4,500円】

LIBRARY 図書館



図書館長からのメッセージ

本学の図書館は看護学科、臨床検査学科からなる保健科学部、大学院（保健医療学研究科）および助産学専攻科の学生、教員の教育・研究活動を支援するために、図書、学術雑誌、学術情報データベース、電子ジャーナルなどを揃えています。その内容は医学、看護学、臨床検査学など医療の専門的分野が主体です。

平成25年1月からは愛媛県在住の一般の方々にも貸し出しを始め、本学が所蔵する専門領域の資料をより多くの方が利用できるようにしています。

さらに、学生・教職員、地域の方が本学図書館をより便利に利用出来るように夜間・土曜日にも開館しています。

他方、本学図書館は、学術情報の収集・所蔵だけでなく、図書館ホームページ上に、本学発行の学術雑誌「愛媛県立医療技術大学紀要」や機関リポジトリ登録の学術論文を掲載することにより、本学教員による研究成果を内外に発信しています。

図書館職員一同、これからも本学図書館が地域に根差した知的拠点として機能していけるよう、一層努力してまいります。

図書館長 佐田 榮司

Eiji Sada



地域交流センター

Regional Friendship



地域交流センター長からのメッセージ

地域交流センターは、県民および保健医療福祉の専門職の交流拠点として、人材育成機能、調査研究機能、相談支援機能、情報発信機能を備え、本学の施設・設備と人材を活用した事業を展開しています。行政や関係機関、NPO法人などの各種団体との連携を図り、学生たちとともに県民の皆さんの健康づくりに貢献できるよう活動してまいります。

地域交流センター長 豊田 ゆかり
Yukari Toyota

平成26年度実施事業のご紹介

ホームcomingデー

とべ子育てフェスタ2014
看護師・臨床検査技師「お仕事体験

おもしろ理科実験教室2014



夏休みキッズ広場



子どもの夢プロジェクト2014



看護実践研究セミナー



リレー・フォー・ライフ2014



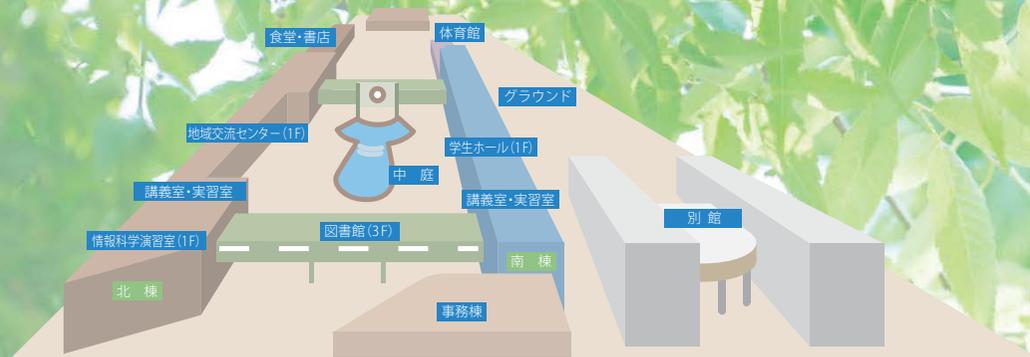
Campus Guide

キャンパスガイド

自然に恵まれたキャンパスで、のびのびと充実した学生生活がおくれるよう施設・設備を備えています。

講義室や各実習室にはA V機器、実習器具などを備え、医療技術を学ぶ十分な環境があります。

また、高度情報化時代に対応した学内LANシステムを整備しており、学内の図書館、演習室、学生自習室、学生ホールなどでは、無線LANにより、インターネットや学内サーバーへの接続が可能です。



成人看護学実習室

成人期にある人の治療・検査に伴う看護や療養生活を支える看護について学びます。



臨床化学実験室

疾患の診断に有用なデータを得るため、生体中の物質の分析・測定方法を学びます。



階段講義室

150インチのプロジェクターを備えた、183名収容の階段教室。両学科合同で開講する科目など大人数で受講する授業やA V機器を使う授業に使用します。



学生ホール

自動販売機、銀行のキャッシュコーナー、求人案内のコーナーがあります。団らん、情報交換の場にご利用しています。



食堂

食堂横には、昼食時に利用できるスペースを設けています。



基礎看護学実習室

ベッドメイキングや血圧測定、採血など基礎的な看護技術を学びます。



臨床生理学実習室

脳波計や超音波診断装置などで生体の生理機能の変化を学びます。



情報科学演習室

最新のパソコンを52台設置して、インターネットに常時接続。学生全員にe-mailアドレスが与えられます。



体育館

スポーツの授業で利用するほかサークル活動でも利用できます。入学式、卒業式もここでを行います。



中庭

豊かな緑に囲まれ、学生の憩いの場となっています。

Campus Calendar

キャンパスカレンダー

4月	入学式 前期授業開始 新生ガイダンス 健康診断
5月	交通安全教室
6月	開学記念日 犯罪被害防止教室
7月	前期試験
8月	夏季休業 オープンキャンパス(第1回)
9月	
10月	後期授業開始 学生祭 オープンキャンパス(第2回) 消防訓練・避難訓練
11月	
12月	就職ガイダンスセミナー オープンキャンパス(第3回)
1月	冬季休業
2月	後期試験 看護師・保健師・助産師国家試験 臨床検査技師国家試験
3月	卒業式・修了式 春季休業



入学式



交通安全教室



オープンキャンパス



学生祭



就職ガイダンスセミナー



卒業式・修了式



サークル紹介



Peer
(性教育サークル)



バレーボール



ワンダーフォーゲル



医技タット
(ボランティアサークル)



手話サークル
「sign」



水泳部



バスケットボール



フラダンスサークル



自治会



VIVO
(ダンスサークル)



MEDIC
(テニスサークル)



フットサルサークル



ソフトテニス



茶道サークル



STS サークル
(障害児ボランティア)



バドミントンサークル

楽しい学生生活の中で個性を育てていきます！



入学試験・オープンキャンパスについて

入学試験情報

平成27年度入学試験実施状況

学部学科または 専攻科の別	定員	募集人数 A		出願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	出願倍率 (B/A)	受験倍率 (C/A)	合格倍率 (C/D)
		前期	後期							
保健科学部	看護学科	前期	42	152	134	48	46	3.6	3.2	2.8
		後期	5	205	63	5	3	41.0	12.6	12.6
		推薦	26	86	86	25	25	3.3	3.3	3.4
		社会人	2	3	3	1	1	1.5	1.5	3.0
		計	75	446	286	79	75	5.9	3.8	3.6
	臨床検査 学科	前期	15	56	43	18	18	3.7	2.9	2.4
		推薦	10	28	28	9	9	2.8	2.8	3.1
		計	25	84	71	27	27	3.4	2.8	2.6
		前期	57	208	177	66	64	3.6	3.1	2.7
		後期	5	205	63	5	3	41.0	12.6	12.6
学部合計	推薦	36	114	114	34	34	3.2	3.2	3.4	
	社会人	2	3	3	1	1	1.5	1.5	3.0	
	計	100	530	357	106	102	5.3	3.6	3.4	
	前期	4	4	4	4	4	1.0	1.0	1.0	
	県内枠/一般	11	15	15	11	9	1.4	1.4	1.4	
助産学専攻科	(内) 県内枠	4	6	6	4	4	1.5	1.5	1.5	
	計	15	19	19	15	13	1.3	1.3	1.3	
	看護学専攻	5	一般/社会人	5	5	5	5	1.0	1.0	1.0
	医療技術科学専攻	3	一般/社会人	3	3	3	3	1.0	1.0	1.0
	大学院合計	8	計	8	8	8	8	1.0	1.0	1.0

平成28年度入試募集要項の請求

資料の請求

インターネット・電話による請求申込

テレメール(インターネットまたは24時間自動音声応答電話)をご利用下さい。

方法

インターネット (パソコン・携帯電話・スマホ・タブレット)
<http://telemail.jp>

自動音声応答電話
IP 電話 050-8601-0101

資料請求番号

一般入試募集要項 549300 (215 円後納)
特別選抜募集要項 (推薦、社会人、私費外国人) 549310 (300 円後納)
助産学専攻科募集要項 (推薦・一般) 546120 (300 円後納)

スマートフォン
QRコード
からも簡単に請求できます。



※送料はお届けする資料に同封されている支払い方法に従い、表示料金をお支払い下さい。

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付になり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から2-3日程度で資料が届きます。

請求方法についてのお問い合わせ テレメールカスタマーセンター IP 電話 050-8601-0102

オープンキャンパス・大学見学について

本学では、例年オープンキャンパスを実施しています。在学生と教員による大学紹介、施設紹介、模擬実習など、大学を肌で感じることが出来ます。

また、大学見学をご希望の方は、事前に(できれば1週間前までに)大学事務局に確認してからお越しください。日程や時間の調整ができれば、実際の演習や授業風景をご覧いただくことも可能です。なお、本学は土曜日、日曜日及び祝祭日はお休みです。平日であれば、夏休み・冬休み期間中でも見学等に対応しています。

問い合わせ/愛媛県立医療技術大学 教務学生グループ TEL 089-958-2111 (内線108・109)

ACCESS MAP

ACCESS MAP アクセスマップ

